

Abiko City

基本目標 4

活力あふれ
にぎわいのある
まちづくり
(産業・観光)

4-1 企業立地の推進

多様な企業の誘致を進め、雇用機会の拡大を図ります。

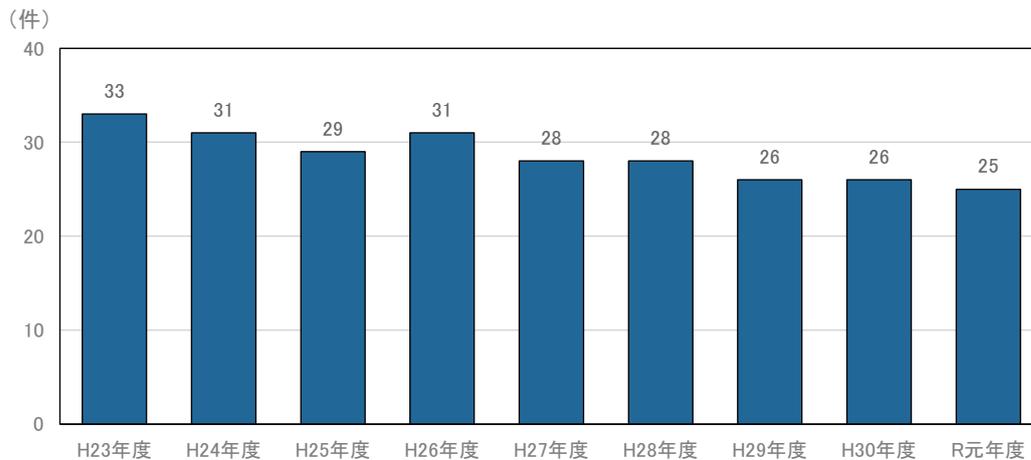
施策の展開内容

企業立地を推進することで、新たな雇用の場を創出し、職住近接による定住化を図ることで恒久的な財源を確保するとともに、住工混在の解消や地域産業の活性化、既存企業の流出防止に取り組みます。

現状と課題

- 市内の工業系用地は既に利用されており、新しい工場や事業所などが立地する余地がない現状があります。住工混在に悩む市内企業の移転先がないほか、新たに市内への進出を希望する企業のニーズに応えられないことが課題となっています。
- 生活しやすいと感じる主な理由のひとつに勤務先が近いことが挙げられています。永く住み続けるために、住む場所の近くに雇用の場があることが求められています。

従業員が4人以上の工業系事業所数



主な取組

企業が進出・操業しやすい環境づくり

- 地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、産業用地を創出し、企業誘致や住工混在の解消などに取り組みます。
- 企業立地を促進させるため、新規立地による設備投資及び雇用を創出する企業に対して支援を行うとともに、再投資により事業の拡大及び雇用の拡大を図る既存企業に対して支援を行います。

施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
創出した産業用地で働く市民の数	—	50人	
企業立地に対する支援制度を活用した企業数	—	5件	制度開始（令和4年度）からの延べ企業数

施策の満足度・不満足に関する指標

【新たな産業の振興と雇用の安定・創出】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 57.9%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		16.6%	41.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	14.4%	10.7%以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	11.4%		
	湖北地区	18.6%		
	新木地区	10.8%		
	布佐地区	20.9%		



4-2 就労支援の充実

働きたい人が働ける環境づくりを進めます。

施策の展開内容

関係機関と連携しながら、求職者に対する就業に向けた情報や相談の場の提供などにより、就労機会の創出と定着を図るとともに、働きやすい職場づくりを実践する事業者に対する支援などを行い、雇用環境の充実を図ります。

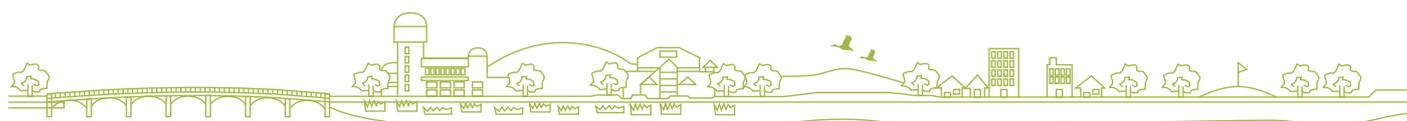
現状と課題

- ワークライフバランスを重視する傾向が強まっており、働き方に対する考え方や企業が求める人材も多様化しています。新しい働き方やニーズの多様化に柔軟に対応し、求職者の状況に合わせた支援が必要となっています。
- 自立した生活を送るため、働く意欲を持った障害者からの相談が寄せられています。障害のある人が安心して働き続けることができる場を確保していく必要があります。

主な取組

就労支援・雇用環境の充実

- 「我孫子市地域職業相談室」において、求人情報を提供するとともに職業相談などの支援を行います。
- 働きやすい職場づくりを事業者に促すとともに、雇用環境の充実を図る事業者に対して支援を行います。
- 障害者を雇用する事業者を支援し、障害者の雇用を促進していきます。
- 障害のある人がそれぞれの能力や特性に応じて安定して働き続けられるよう、就労に関する個別相談や定着のための支援などを実施するとともに、事業者や社会福祉法人などの関係機関と連携し、就労支援体制を強化します。



施策指標

指標名	現況値	目標値 (R 9)	備考
地域職業相談室が紹介した人が就職した割合	18.4% (R1)	25.0%	
働きやすい職場づくりを実践する企業として国の認定を受けた事業者数	3件 (R2)	6件	
障害者の就職後6か月経過時の職場定着率	100% (R1)	100%	
障害者の福祉的就労から一般就労への移行者数	19人 (R1)	20人	



4-3 商工業の振興

地域経済を支える中小企業等への支援を行うとともに、起業・創業しやすい環境づくりを進めます。

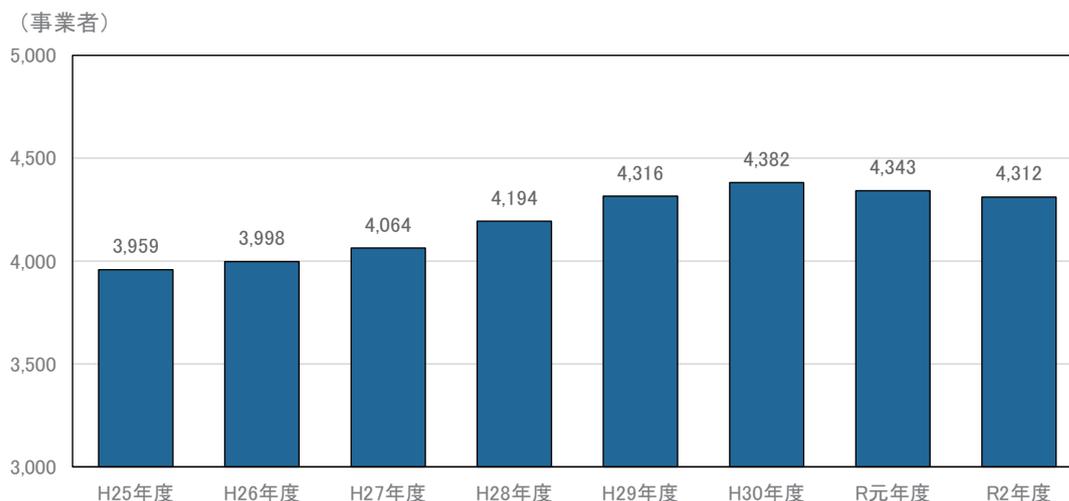
施策の展開内容

中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。

現状と課題

- 市内商工業における事業所は、市民の生活基盤であるとともに、雇用の場ともなっていますが、その数は減少傾向にあります。安定的な事業環境を確保するため、市内事業者に対して状況に応じた支援を行っていく必要があります。
- 地域の経済環境としては、事業者の高齢化や後継者不足、郊外型大型店舗の進出や通信販売網の充実による消費行動の変容といった現状があります。変化する消費動向などへ対応し地域経済の活性化を図るため、事業者同士の連携を深め組織力を強化するとともに、市内での消費を高める必要があります。
- 市内の起業・創業者数は伸び悩んでいる状況です。起業・創業者の多様なニーズに対応する、新たな支援を行っていく必要があります。

市内の事業者数（納税義務者数）



主な取組

地域経済の活性化

- 地域に根差した事業者の経営の安定や事業の発展のため、中小企業に対して資金の貸付けや利子補給など社会状況の変化や経営状況に合わせた支援を行います。
- 地域経済の活性化のため、商工会と協力して事業者同士の連携を促し、組織力が向上するよう、商店会や商工業者などの取組を支援するとともに、市内での消費を促していきます。
- 起業・創業者数の増加を図るため、起業するための学びの場を提供するとともに、創業時における支援策を充実させます。

施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
商店街団体等への年間支援件数	16 件 (R2)	18 件	
市内の事業者数（納税義務者数）	4,312 (R2)	4,600	営業所得のある個人市民納税義務者数と法人市民税納税義務者数の合算
「我孫子市創業支援等事業計画」に基づく支援により起業・創業した累計件数	53 件 (R2)	123 件	
「我孫子市中小企業資金融資制度」の設備投資に係る新規融資件数	14 件 (R2)	50 件	平成 30 年度からの延べ件数



施策の満足度・不満度に関する指標

【商業の振興】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 59.0%

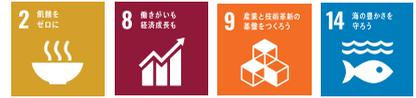
指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		25.8%	41.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	17.0%	15.9% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	17.0%		
	湖北地区	21.6%		
	新木地区	16.0%		
	布佐地区	22.1%		

【工業の振興】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 50.7%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		12.8%	35.5%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	13.5%	7.2% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	11.3%		
	湖北地区	14.7%		
	新木地区	7.3%		
	布佐地区	18.8%		





4-4 農業の振興

農業の生産性向上と持続的な発展を図るための環境づくりを進めます。

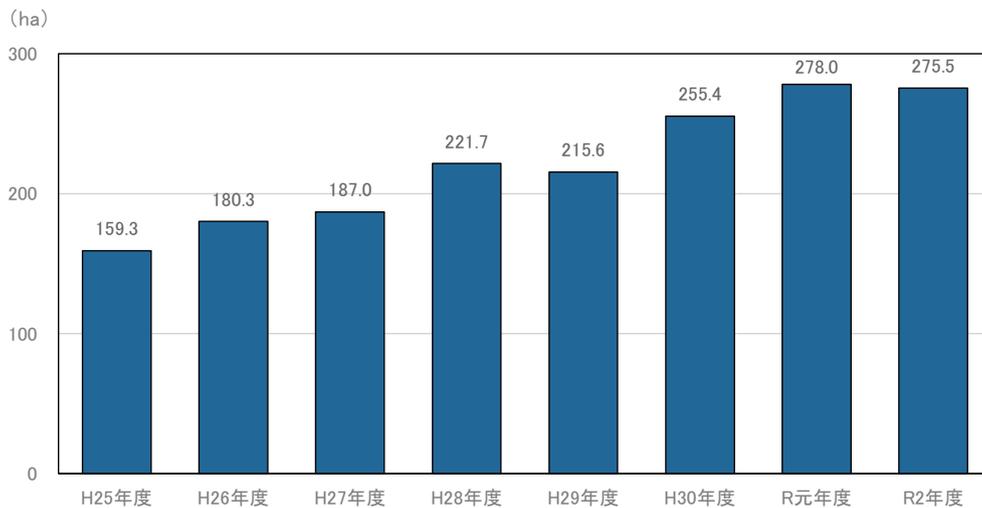
施策の展開内容

農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。

現状と課題

- 本市の農業は、農家1戸当たりの農業産出額が低く、生産者の高齢化や担い手不足により農業経営を維持し発展させていくことが非常に厳しい状況となっています。農業の生産基盤や経営基盤を維持強化する必要があります。
- 手賀沼沿いの農地は、手賀沼や斜面林などと一体となった自然環境の保全や良好な景観の形成など重要な機能を発揮しています。これらの農地を保全し、人と農がふれあえる魅力ある場として活用していく必要があります。
- 都市近郊に位置する本市では、農業体験・学習の場や市民への安らぎの提供など、農業の持つさまざまな機能に対する期待が高くなっています。住宅地と農地との共存を図るだけでなく、生産者と消費者の交流を促進していくことが求められています。

農地利用集積面積



主な取組

生産性の向上と付加価値の創出

- 農業の生産性の維持・向上を図るため、集落・地域の話し合いにより、今後の地域の中心となる担い手を定め、農地集積を進める「人・農地プラン」を作成し、農地中間管理機構などと連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、先進的な農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤の維持強化に取り組みます。
- 生産者と連携しながら環境保全型農業の普及・促進を図り、エコ農産物の栽培・供給に取り組む農家を積極的に支援・育成し、環境にやさしい農業に取り組みます。
- 地元農産物の付加価値を高めるため、生産者、大学、商工業者、NPOなどの関係者と協力しながら、農業拠点施設を軸とした新たな加工品の開発やブランド化、市内外のイベントでのPRに取り組みます。
- 地元農産物を地域内で消費する地産地消を推進するとともに、市の交流人口を増加させる役割を担う農業拠点施設を活用し、消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物の供給や食育推進に取り組みます。
- 収益性の高い作物や農業技術、経営改善方法の情報提供を行うなど、農業経営の安定化のための各種支援に取り組みます。
- 新規就農者を確保・育成するため、就農希望者の計画作成や農地の確保、就農後の農地拡大、農業機械・施設の導入、農業技術の習得、そのための資金調達などの支援に取り組みます。
- 手賀沼沿いの農地を耕作する農業者への支援を行い、手賀沼や斜面林などと一体となった豊かな自然環境を保全していくとともに、自然と農業を活かした観光資源としての活用を図ります。
- 誰もが農業に親しみ、楽しみ、育むことができるよう、市民農園の運営や農家開設型ふれあい体験農園の支援を実施し、農業体験の場を提供します。
- 関係団体と連携し、農業拠点施設を中心とした各種イベントを開催し、地元農産物の利用促進と消費者交流の場を提供します。



施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
農地利用集積面積	275.5ha (R2)	390.0ha	
新規就農者の経営体数	20 (R2)	33	平成21年度からの延べ数(離農した経営体数は除く)
「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	29人 (R2)	42人	
農産物直売所年間売上	225,074千円 (R1)	260,000千円	

施策の満足度・不満度に関する指標

【農業の振興】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 66.4%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合(市全体)		26.2%	47.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	7.2%	7.1%以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	9.1%		
	湖北地区	10.2%		
	新木地区	7.3%		
	布佐地区	12.8%		



4-5 交流・関係人口の拡大

手賀沼をはじめとする地域資源を活用し、多くの人々に親しまれる環境づくりを進めます。

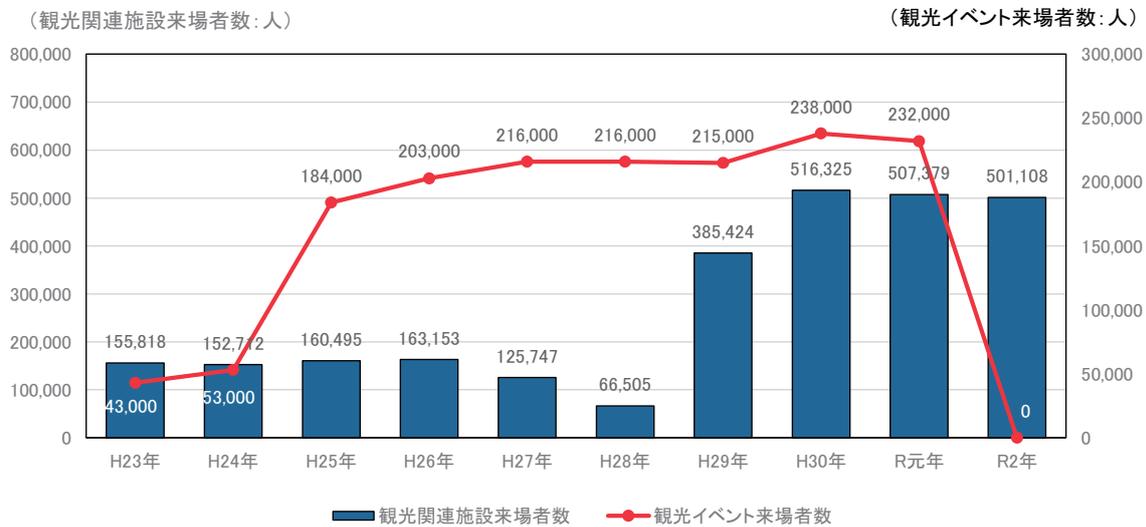
施策の展開内容

交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。

現状と課題

- 市や市民と多様な形で継続的に関わる人を指す「関係人口」は、地域を活性化する存在として期待されています。観光に訪れる「交流人口」だけでなく「関係人口」も拡大できるよう、市民や事業者など民間の力を活用し、地域資源の魅力の発掘と情報発信を図る必要があります。
- 市内には、市のシンボルである手賀沼をはじめ、古利根沼、利根川などの水辺に代表される豊かな自然や、白樺派ゆかりの地などの文化遺産があり、大きな魅力となっています。これらの地域資源を最大限に活かして、交流・関係人口を拡大していく必要があります。

観光イベント・観光関連施設来場者数



※令和2年度の観光イベントは、新型コロナウイルス感染症により全て中止

主な取組

観光資源の活用による地域の活性化

- 手賀沼を中心としたさまざまな地域資源を活かして、市内外から多くの人が訪れ親しんでもらえるよう、手賀沼花火大会をはじめとするイベントの開催や誘客に寄与する環境づくりに努めていきます。
- 「人と鳥の共存をめざして」をテーマに、ジャパンバードフェスティバルを開催し、環境保護を考える機会を提供するとともに、国内最大級の鳥の祭典としてその情報を発信し、自然環境の大切さをアピールしていきます。
- 手賀沼親水広場・水の館では、水環境保全の啓発を進めるとともに、手賀沼の魅力を高めるさまざまなイベントの開催を通して、地域の活性化やにぎわいの創出を図っていきます。
- 高野山新田エリアの豊かな自然環境と調和する景観作物を栽培するとともに、観光農園などの整備について検討していきます。
- 誰もが安全で快適に手賀沼の水辺に親しめるよう、手賀沼遊歩道の利用促進を図っていきます。
- 千葉県、柏市、印西市と連携して水面を含めた手賀沼・手賀川周辺の観光資源を活用するとともに、常磐線・成田線沿線の自治体や大学などと連携して広域で地域資源を活用することで魅力向上を図ります。
- 我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ公園坂通りが、まちのにぎわいを生むシンボルロードとなるよう検討を進めます。
- 五本松公園周辺地域の魅力向上を図るため、公園とふれあいキャンプ場など周辺施設との一体的な活用について検討していきます。
- 多くの人が訪れ、市の魅力を知ってもらえるよう、手賀沼とその周辺でのスポーツイベントの開催やアウトドアアクティビティの普及を推進します。

観光情報の発信

- 多くの人に繰り返し訪れてもらえるよう、自然や歴史・文化をはじめとする市の魅力や観光情報をさまざまな方法で効果的に発信していきます。



施策指標

指標名		現況値	目標値	備考	
観光イベント来場者数		232,000人 (R1)	233,500人	ジャパンバードフェスティバル・産業まつり・手賀沼花火大会・あびこカップまつり	
観光関連施設来場者数		507,379人 (R1)	523,500人	鳥の博物館・手賀沼親水広場・白樺文学館・杉村楚人冠記念館・旧村川別荘・旧井上家住宅	
市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなぎちカップ参加者数		201人 (R2)	250人		
ふれあいキャンプ場利用者数		8,730人 (H30)	10,000人		
地域ブランド調査の点数	観光意欲度	順位	764位 (R3)	600位	株式会社ブランド総合研究所が毎年実施している調査結果に基づく（現況値は全国1000市区町村を対象に行われた令和3年度の調査結果）
		点数	15.5 (R3)	17.5	

【参考】近隣市の地域ブランド調査結果の状況（令和3年度）

		柏市	松戸市	流山市	鎌ヶ谷市	印西市	野田市	取手市
観光意欲度	順位	688位	547位	721位	669位	767位	841位	928位
	点数	16.5	18.6	16.0	16.7	15.4	14.6	13.3

施策の満足度・不満度に関する指標

【交流人口の拡大】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 72.3%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		58.5%	59.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	11.3%	10.6%以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	10.7%		
	湖北地区	13.2%		
	新木地区	14.0%		
	布佐地区	15.9%		

